

第15回社会保障審議会年金部会 資料 平成25年10月7日(月)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000025408.html>

<配布資料>

議事次第

- [議事次第\(PDF:63KB\)](#)

委員名簿

- [委員名簿\(PDF:111KB\)](#)

資料1-1

- [年金制度を巡るこれまでの議論について\(PDF:1,494KB\)](#)

http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12601000-Seisakutoukatsukan-Sanjikanshitsu_Shakaihoshoutantou/0000025394.pdf

資料1-2

- [今後の年金部会における議論の進め方\(PDF:360KB\)](#)

http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12601000-Seisakutoukatsukan-Sanjikanshitsu_Shakaihoshoutantou/0000025396.pdf

資料2

- [「年金保険料の徴収体制強化等に関する専門委員会」の設置について\(PDF:69KB\)](#)

参考資料1

- [社会保障審議会関係法令・規則\(PDF:266KB\)](#)

参考資料2

- [参考資料集\(PDF:1,258KB\)](#)

http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12601000-Seisakutoukatsukan-Sanjikanshitsu_Shakaihoshoutantou/0000025400.pdf

参考資料3-1

- [社会保障制度改革国民会議 報告書\(概要\)\(PDF:636KB\)](#)

参考資料3-2

- [社会保障制度改革国民会議 報告書\(PDF:2,177KB\)](#)

参考資料4

- [社会保障制度改革推進法第4条の規定に基づく「法制上の措置」の骨子について\(PDF:230KB\)](#)

参考資料5-1

- [年金保険料の徴収体制強化等に関する論点整理のポイント\(PDF:61KB\)](#)

参考資料5-2

- [年金保険料の徴収体制強化等に関する論点整理\(PDF:668KB\)](#)

(報道より)

○毎日新聞 2013年10月07日 **年金改革：課税強化を論議 社保審、慎重論も強く**

厚生労働省は7日、厚労相の諮問機関、社会保障審議会年金部会を開き、**年金改革案**づくりに着手した。政府の社会保障制度改革国民会議が提言した、年金課税の強化案などを検討していく。しかし、慎重論もあり、すんなりまとまる見通しは立っていない。

同省は5年に1度、年金制度を維持できるか否かを検証する。その年にあたる2014年に向け、制度の持続可能性を高める改革案も検討する。柱の一つが年金課税の強化だ。

年金には「公的年金等控除」があり、65歳以上なら年金収入120万円までは非課税となる。高所得者はこの控除を縮小し、課税額を増やすことが検討課題だ。また、物価の伸びより年金の伸びを抑えるマクロ経済スライドのデフレ時の実施や、年金の支給開始年齢（原則65歳）引き上げも焦点となる。

ただ、来年4月の消費増税を控え、年金関係の負担増には与党内に根強い反発がある。このため、閣議決定済みの「社会保障制度改革プログラム法案」に盛り込まれた**年金改革案**は、一つも時期を明示できなかった。

さらに国民会議に**年金改革**の方向性を示すはずだった、自民、民主、公明各党による3党協議は、現行制度の修正を求める自公と、年金一元化などを主張する民主が対立したまま。政府は新たな有識者会議を設けて議論を続けるが、厚労省幹部は「3党で改革の大きな枠組みをつくらないと動きようがない」と困惑している。

【佐藤丈一】